

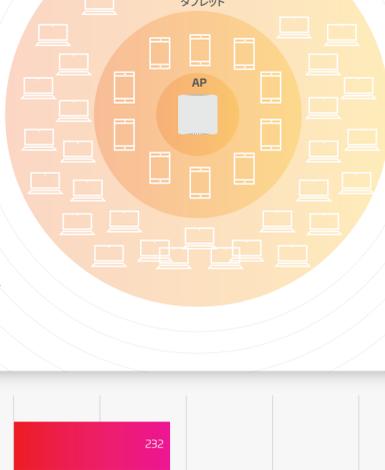
どのクラウド対応Wi-Fi 6 APが、プレッシャーの中で最も高いパフォーマンスを発揮するのでしょうか？

2021年3月のPacket6によるクラウド対応Wi-Fi 6アクセスポイント (AP) のテストでは、5種類のクラウド対応4ストリームAPに実際の高密度環境で負荷が加えられました。60台のクライアントからのデータ、音声、動画の同時要求に対して、CommScope RUCKUS® APだけがエンタープライズグレードのサービスレベルを満たしました。

ベンダー最高のWi-Fiが試される

各APが出荷時の構成で、トラフィックの管理と優先順位付けのテストを実施しました。30台のWi-Fi 6ノートパソコンクライアントに対する1080pビデオのストリーミング配信、20台のWi-Fi 5ノートパソコンクライアントと5台のWi-Fi 5タブレットによるデータのダウンロード、そして5台のWi-Fi 5タブレットによる双方向VoIP通話のシミュレーション

RUCKUS R750は、他のAPの約2倍のスループットを実現しながら、30台のクライアントすべてに失速のないビデオを配信し、VoIPクライアントで「良好」の平均オピニオン評点 (MOS) を達成した唯一のAPとなりました。



ネットワークスループット

スループットは、APとネットワーク内の全クライアント間を流れるデータトラフィックの総量を示す指標です。この数値が大きいほど、APがより多くのユーザー、デバイス、アプリケーションに対応できることを示します。

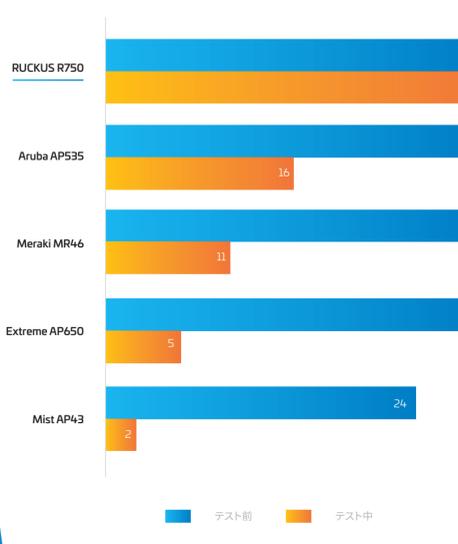


音質MOS

音質MOS (平均オピニオン評点) は、PSTNやVoIP通話中にユーザーが感じる音声品質の指標としてよく用いられます。点数が高いほど、通話品質がよいことを意味します。高性能なネットワークでは、音声トラフィックを他のデータトラフィックよりも優先することで、良好な通話品質を確保します。

失速のないストリーミングビデオ

ストリーミングビデオやその他のビデオフォーマットは、職場や学校といった環境において一般的です。ビデオが失速すると、ユーザーエクスペリエンスが低下し、余計なIT作業が発生する可能性があります。点数は、30本中失速せずに配信されたビデオの数を示しています。



ネットワーク解析ツールによるトラブルシューティング



平均特定時間

平均特定時間 (MTTI) とは、ネットワーク管理者がネットワークの問題やインシデントの根本原因を特定するために必要な時間です。平均MTTIが短ければ、IT部門におけるトラブルシューティングの負担が軽減され、IT部門がインシデントの継続する時間とその影響をより効果的に抑制できるため、ユーザーエクスペリエンスが向上します。

テスト条件

- オフィスや教育現場を想定した2つの部屋
- 多様な種類のデバイス、Wi-Fi規格、OSのクライアントが混在する実世界的环境
- 80MHz幅のチャンネル
- 追加設定なしのAP構成

レポート

- 独立業界コンサルタントであるPacket6のRowell Dionicio氏 (CWNE #210) によるAPテストの観察と検証
- Packet6により実施されたネットワーク解析テスト
- テスト方法と結果はPacket6のレポートで公開

RUCKUSは他製品では不可能なことを実現

実世界のストレス下における信頼性の高いWi-Fi接続

すべてのクライアントで実世界のアプリケーションパフォーマンスが向上

最大2倍のスループットでより多くのユーザーとデバイスをサポート

追加設定なしのQoSメカニズムが高品質なVoIP通話を実現

根本原因を迅速に明らかにするAIとMLを活用した分析機能

[レポートのダウンロード](#)

RUCKUSテクノロジーが最高のパフォーマンスを実現

BeamFlex+®

パケットごとにリアルタイムでアンテナパターンを自動調整し、すべてのクライアントデバイスでスループットを最大化します。

ChannelFly®

輻射したチャンネルから輻射のないチャンネルに自動的にクライアントを切り替えます。

SmartCast™

洗練されたスケジューリングとキューイングのメカニズムに、特有の振る舞いに基づいてトラフィックを自動的に識別し、特徴づける高度なヒューリスティックアルゴリズムを組み合わせています。

AIを活用したインシデント分析

RUCKUS Analyticsは、サービスインシデントを重大度別に自動分類し、根本原因を追跡して、最高のエンドユーザーエクスペリエンスを提供するための改善策を提案します。

[その他のRUCKUSテクノロジーをご覧ください](#)